

春日大社初詣～奈良町散策～元興寺 活動報告

担当：4 班



新春の初詣として、春日大社をスタートして、ならまちを散策し元興寺迄行く。

そら組としては、久しぶりの古都奈良の初詣ででしたが、外国人観光客の多さには驚きました。

[実施日] 2024 年 1 月 19 日 (金) 天候は曇り晴れ

[集 合] 春日大社国宝殿前 10 時 15 分 [参加人数] 60 名

[行 程] 国宝殿前～春日大社～若宮神社～(ささやきの小径)～志賀直哉旧居～破石町～
浮御堂・鷺池～荒池(昼食・班長会)～瑜伽(ゆうが)神社～元興寺(拝観)～解散

・春日大社の旧称は「春日社」、神紋は「下がり藤」で、全国に約 1,000 社在る春日神社の総本社であり
ユネスコの世界遺産に「古都奈良の文化財」の 1 つとして登録されています。

奈良時代の 768 年に、平城京の守護と国民の繁栄を祈願する為に創建され、中臣氏・藤原氏を
祀る主祭神が白鹿に乗ってきたことから、**鹿を神使とする**。

興福寺との関係が深く、神仏習合が進むにつれて春日社と興福寺は一体のものとなっていくが、
平清盛と対立すると、1,181 年に平家から南都焼討が行われ、興福寺は全焼し春日社も大きな被害
を受ける。慶応 4 年 (1,868 年) には神仏分離令が出され、明治 4 年には「春日社」は社名を
「春日神社」に改称すると共に、「官幣大社春日大社」になる。

- ・ならまちは昔風の建物が多く残り、店舗やお寺も多く見られ、気持ち良い風情の街並みでした。
- ・**元興寺**は蘇我馬子が飛鳥に建立した、日本最古の本格的仏教寺院の法興寺で、平城京遷都に伴い
「元興寺」として平城京内に移転した「国宝・世界遺産」です。日本最古の屋根瓦も観られます。



春日大社国宝殿前の広場

出発点 ➡



春日大社



志賀直哉旧居



浮御堂と干上がった鷺池

到着点 ➡



元興寺の本堂(国宝)



日本最古の瓦葺き屋根